

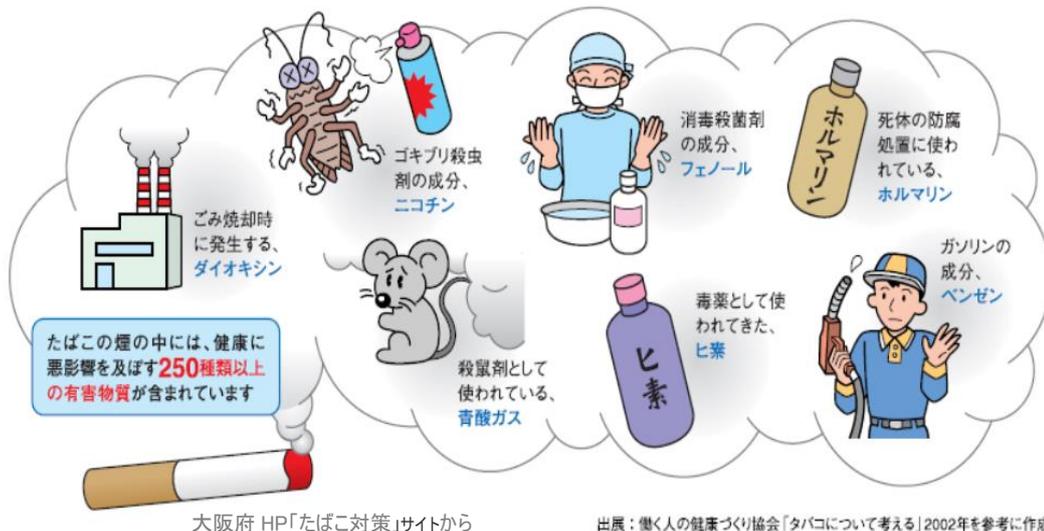
週刊 **タバコの正体**

「タバコは健康に悪い」ことはよく知られています。皆さんもすでによくわかっていると思います。でも「どのくらい健康を害するのか」を詳しく知っているでしょうか。そもそもタバコの煙には一体どんなものが含まれているのかを答えられる人は少ないと思います。

そこで、下図を見てください。タバコの煙にはダイオキシン、ニコチン、ベンゼンなど、およそ人が口にするはずがないような有害物質が含まれています。その種類は200種類とも250種類と言われるほど多く、「タバコは毒の缶詰」と呼ぶ人もいるぐらいです。「そんなものを毎日吸い続けるなんて、どうかしている」と思わずにいらませんが、世間にはそんな風潮はなく、タバコを吸う人は珍しくないのが不思議ですよね。

喫煙者は、そんな有害物質を毎日吸い込むわけですから健康を害しないわけがありません。当然、

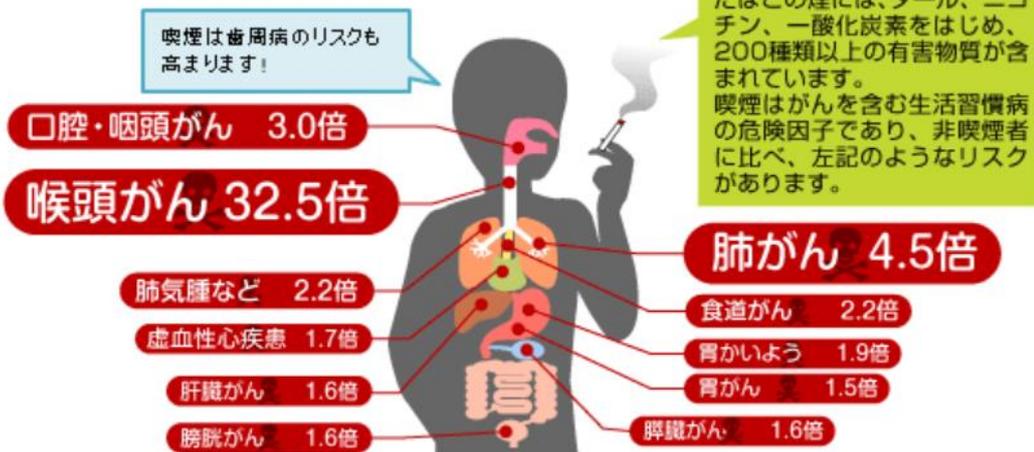
たばこの煙の中にはこのような有害物質が！



タバコのせいで病気になる確立が高くなりますよね。一番下の図にあるように、喫煙者ががんになる確率は、**喉頭がん**で32.5倍、**肺がん**で4.5倍、**口腔・咽頭がん**で3倍にも高くなるそうです。

こんな事を知ると、ますます「タバコなんか吸うのはどうかしている」と思いませんか。健康な人生のためには、タバコは必要ありません。

非喫煙者と比較した喫煙者の死亡率 (%) ~男



産業デザイン科
奥田 恭久